

微生物ラボ・ハブ in 中四国 開催報告

開催日時 2025 年 5 月 16 日 (金) 13:00~17:20

開催会場 TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅北口 ホール 3D

参加者 学生、アカデミアの方々およそ 50 名

***** プログラム*****

1. 講演 (ビデオメッセージ) 「研究人生を振り返り、思うこと」
大隅基礎科学創成財団 理事長 大隅 良典
2. 講演「21 世紀の新たな微生物制御を目指して
～バイオフィルムと Cell-cell communication の理解～」
筑波大学 生命環境系 野村 暢彦 氏
3. 講演「過剰発現実験により明らかにするタンパク質発現への制約」
岡山大学 学術研究院・環境生命自然科学学域 守屋 央朗 氏
4. 講演「海底下地層の中でも生き続ける微小生命をさぐる、
生命の極限で適応や進化は起こるのか？」
国立研究開発法人海洋研究開発機構 高知コア研究所 諸野 祐樹 氏
5. 講演「微生物が秘める温度適応メカニズムの全容解明を目指して」
山口大学大学研究推進機構 中高温微生物研究センター 佐藤 悠 氏
6. 参加者によるフラッシュトーク

大隅基礎科学創成財団微生物機能探求コンソーシアムの主催で、「微生物ラボ・ハブ in 中四国」を開催しました。本会は、日本の微生物学研究者間の人的ネットワーク構築を支援することを目的としています。

まず、大隅理事長よりビデオメッセージにて、財団の活動内容やご自身の研究経歴、そして現在の微生物学研究へのお考えをご講演いただきました。続いて、4名の先生方にプログラムに記載の講演タイトルに沿って、最新の研究内容をご紹介いただきました。最後に、参加者によるフラッシュトークを実施しました。初対面の方同士でも互いの研究内容を理解しやすいよう、お一人につきスライド1枚・持ち時間2分でご発表をお願いしました。フラッシュトークは参加者の皆様にも大変好評で、「講演者以外の研究内容も把握できた」「学生からシニア研究者まで一緒に発表できる形式が良かった」といったご感想をいただき、企画側としても非常に嬉しく感じました。

改めて、ご講演くださった先生方、ご参加いただいた皆様、そして開催準備にご尽力いただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

公益財団法人 大隅基礎科学創成財団

